
親友

麻美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

親友

【Nコード】

N3269C

【作者名】

麻美

【あらすじ】

最初、私は親友なんてどうでも良いと思っていた。でも、ある人に出会ってから私は少しずつ変わった……。

第一話？

あなたと会うまで私の未来は闇でつまれていました。

そんな私を救ってくれたのは・・・あなたでした。中学1年、私は、これから始まる中学生活に期待を膨らんでいた。毎日、学校に行くのが楽しかった。入学して2、3日たった頃、学級委員を決める事になった。私は学級委員なんか絶対になりたくなかった。そんな私が先生に無理矢理やらされた。

学級委員になった私をクラスのみんながサポートしてくれたから頑張つて出来たと思う。でも、ある日ちよつとした事件が起きた。理科の授業、私の隣に座っている中野なみがきつかけだった。なみは自分のノートにクラスの悪口を書いていた。そんな事書かれてムカついたので先生に言ったら先生は

「麻美さんが悪いんじゃないの？学級委員なんだからクラスの事を把握しておくなくちゅダメでしょ。」 反対に注意されてしまった。

その日をさかえに先生からのイジメが始まった。私だけ睨まれわざと足を踏まれ転ばされてクラスが起こしたらすべて私の責任になった。その事を友達に言ってみたら友達は

「ゴメンネ、ゴメンネ。」と何度も何度も謝ってくれた。「その日から友達がいつも私の周りに居てくれて先生から守ってくれた。」

でも、みんなが知らない時に何度も何度も呼び出しされて色々やらされた。そんな毎日だった。

日に日に先生、全員嫌いになり怖くなり先生のせいで、みんなから無視されて透明人間になった。楽しかった学校に行く事が苦痛になった。2ヶ月後、大きい病院で入院になった・・・。毎日、点滴だった・・・。心も体もグチャグチャになっている時ある人が私の所に来た。c l s だった。c l e のおかけで乗り越えてこれた。7カ月の入院生活をしてからやっと退院できた。

退院できた頃には1年の春休みだった。

2年になった私は久しぶりに学校に行った。とても懐かしかった。不安だった。幼馴染と一緒にクラスになった。だから少し良かった。班も一緒が良かったのに違う班だったから新しい班が嫌だった。私と同じになったのは、長尾さんと松村さんとれいなだった。最初れいなと本当に仲が悪かった。私はいつものように友達に

「まじムカツクし！」ばかり言っていた。話かけられても無視。私から話かける事は私にとって有り得ない事だった。宿泊訓練一日前まで私達の仲はそんな感じだった。でも私達はあるきっかけで仲良くなりました。それは宿泊訓練です。

宿泊訓練当日、いつものように仲が悪かった私達だったけどバスの中で仲良くなった。宿泊訓練が終わってからも一緒に遊ぶ事が日に日に遊ぶ事が多くなり今ではほとんど毎日一緒に遊んでいた。周りの人からは、

「性格変わったね」と言われる事が多くなった。自然に学校に行く事も帰る事も私も中で当たり前になった。れいなと居ると嫌な事があっても又がんばれるし笑顔になれた。いつの間にか私の中でれいなが存在がとて大きくなり仲の良い友達から大切に仲の良い親友になりました。嫌だった学校もれいなが居たから楽しく感じられました。

でも、そんな私達でもある日ささえなきっかけでケンカをしてしまった。私が悪かったのにすぐに素直のに謝ることが出来なかった。いつのは毎日メールをたくさんしていたのに、ケンカ中はメールが出来なかった。れいなと少しだけメールができないだけで余計に嫌な気持ちになった。だから謝りのメールを送ったら許してくれた。本当に嬉しかった。

ある日れいなが学校を休んでしまった。私はとても暇だった。その時に親友の大切さがわかった。私は親友になって良かった。親友になって良かった事はまだたくさんある。例えば落ち込んでいるとき

励ましてくれたり、ふざけて眉毛を変なふうにかいて爆笑したりした。笑ったり泣いたりするのが一緒だった。先生や親に言えない悩みをれいなに話したりした。そたびに、

「ムカツクし」とか、

「ふざけてるし」とか

「気にするな・まみ」とか色々いつてくれたから又がんばれた。

私がレイプされてれいなに言ったら自分の事のように泣いてくれて目が腫れるぐらいに泣いてくれて何度も何度も謝ってくれた。そんな親友が出来て本当に良かったと思う。

れいなと友達になって約2ヶ月。もつともつと前から仲良かったような感じがする。これからも親友を大切にしていきたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3269c/>

親友

2011年1月26日12時44分発行